

令和3年度「まちかどコメンテーター」

アンケート調査結果

<抜粋版>

鹿児島市

・第5回

- 1 健康づくりについて（保健政策課）
- 2 選挙について（選挙管理委員会事務局）

目 次

| | | |
|-----|----------------|----|
| I | 調査の概要 | 1 |
| II | 健康づくりについて..... | 4 |
| III | 選挙について..... | 12 |

I 調査の概要

1. まちかどコメンテーターの概要

(1) まちかどコメンテーターとは

市民の皆様「まちかどコメンテーター」になってもらい、市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。

また、アンケートを通じて、市民の皆様の市政への関心・興味を深めていただくことも目的としています。

(2) まちかどコメンテーターの選定方法

市内に住むか通勤・通学する 18 歳以上の方を対象とし、一般公募及び住民基本台帳から無作為抽出した市民 2,500 人への就任依頼において、応募・承諾いただいた方により構成しています。

(3) 任期

令和 3 年 7 月 1 日～令和 4 年 6 月 30 日

(4) 人数

328 人（第 5 回調査実施時点）

(5) 所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

2. 第5回調査の概要

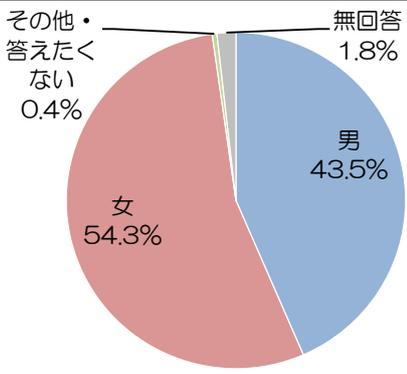
(1) 調査概要

| | | |
|---------|---------------------|---------------------|
| テーマ/担当課 | 健康づくりについて 選挙について | 保健政策課 選挙管理委員会事務局 |
| 調査期間 | 令和4年1月7日～1月28日 | |
| 回答率 | 68.0% (223人) | |

(2) 回答者属性

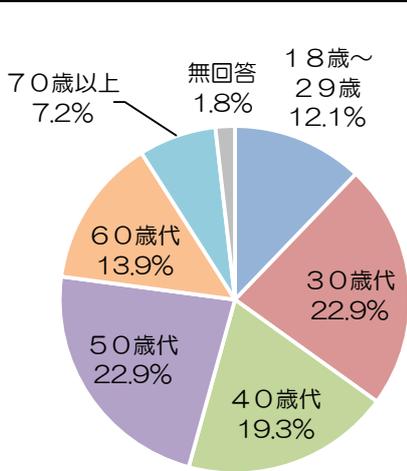
① 性別

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|------------|-----|--------|
| 男 | 97 | 43.5% |
| 女 | 121 | 54.3% |
| その他・答えたくない | 1 | 0.4% |
| 無回答 | 4 | 1.8% |
| サンプル数 | 223 | 100.0% |

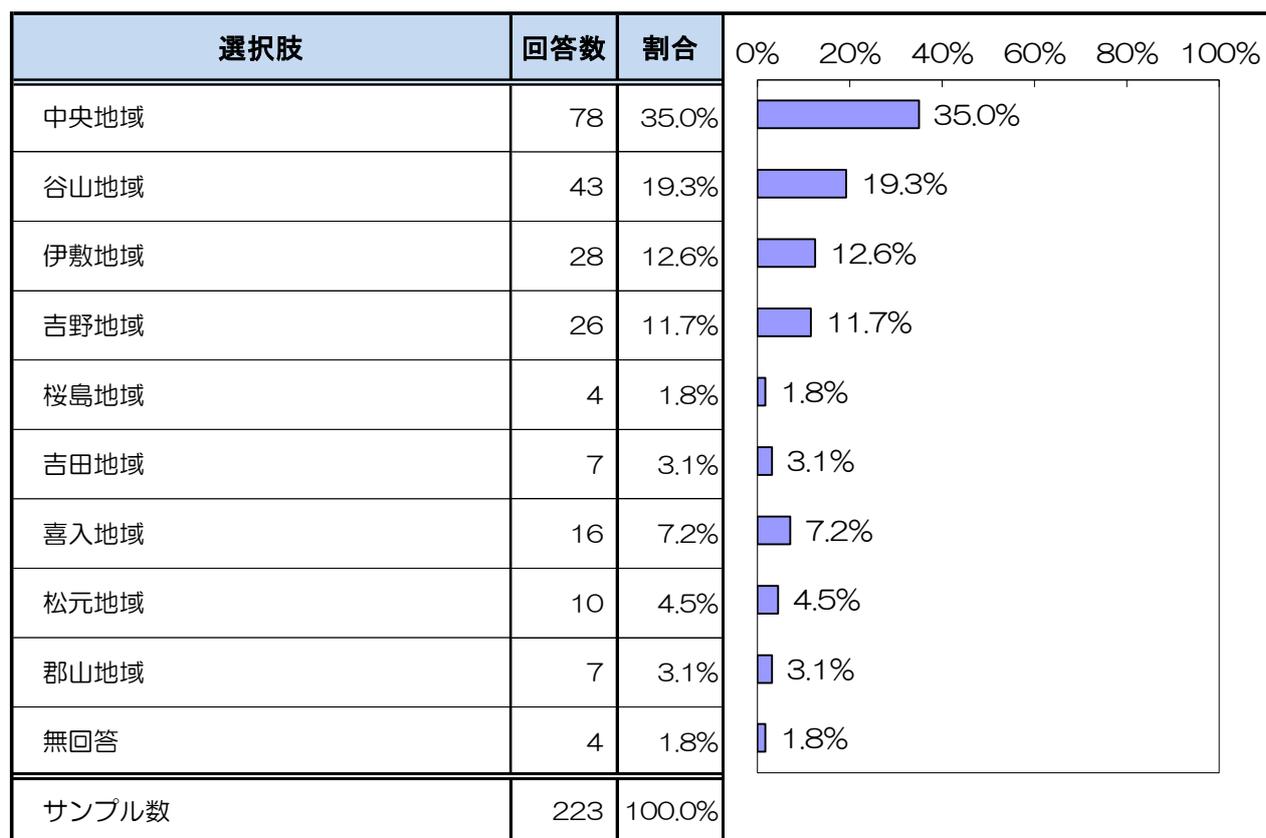


② 年代

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|---------|-----|--------|
| 18歳～29歳 | 27 | 12.1% |
| 30歳代 | 51 | 22.9% |
| 40歳代 | 43 | 19.3% |
| 50歳代 | 51 | 22.9% |
| 60歳代 | 31 | 13.9% |
| 70歳以上 | 16 | 7.2% |
| 無回答 | 4 | 1.8% |
| サンプル数 | 223 | 100.0% |



③ 居住地域



3. 報告書上の留意点

- ・ 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。
- ・ 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。
- ・ 設問文や選択肢等の表記において、原文より変更している場合があります。

Ⅱ 健康づくりについて

1. 調査の目的

本市では、子どもから高齢者まですべての市民が「共に支え合い、すこやかで心豊かに生活できる鹿児島市の実現」を目指し、健康づくりの指針となる、第二次鹿児島市健康増進計画「かごしま市民すこやかプラン」（計画期間：平成25年度から令和5年度）に基づき、市民の健康づくりを推進しています。

平成29年度には、設定した目標の達成状況や、これまでの取組み・課題等について検証を行い、中間評価を行いました。また、令和5年度には、現計画の最終評価及び次期健康増進計画の策定を行います。

最終評価に向けたプレアンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。

2. 調査結果を受けて担当課（保健政策課）からのコメント

スマートフォンなどで歩数を確認できる方62.8%のうち、4000歩～5999歩の方が24.3%と最も多く、次いで2000歩～3999歩の方が23.6%で、目標の5500歩～7800歩にはまだ達していない状況でした。

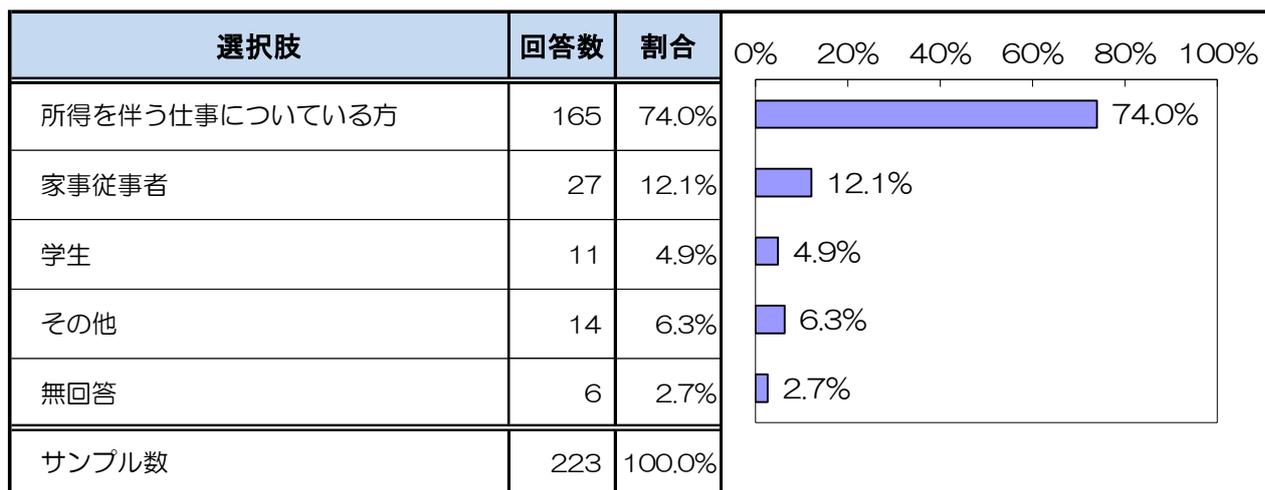
また、喫煙率は11.7%で、目標の12.0%に達していますが、過去1か月以内に受動喫煙を経験したことがある方は46.2%となっており、中でも路上で受動喫煙を受けた方が62.1%いました。改正健康増進法が施行され2年が経過しますが、周囲の方への配慮義務に対する認知が不十分な状況です。

運動の効果や喫煙が体に及ぼす影響など、健康づくりのために必要な情報発信に努めるとともに、受動喫煙防止のための周囲の方への配慮義務についても更なる周知に努めてまいります。

3. 調査結果

問1 あなたの職業について、下記の中で主たるものをお答えください。
(単一回答)

「所得を伴う仕事についている方」が74.0%と最も高く、次いで、「家事従事者」の12.1%、「その他」の6.3%の順となっています。



問2 問1で「1. 所得を伴う仕事についている方」とお答えした方にお伺いします。あなたの職場では、健康づくりに取り組んでいますか。
(単一回答)

「はい」が61.8%、「いいえ」が38.2%となっています。



◆「1. はい」と回答した方の具体的な取組

| 具体的な取組 | 件数 |
|---|-----|
| ・健康診断等 | 90件 |
| ・ラジオ体操などの体操 | 25件 |
| ・健康相談や指導 | 6件 |
| ・ストレスチェック | 5件 |
| ・インフルエンザワクチン接種 | 4件 |
| ・職場検診 | 3件 |
| ・がん検診 | 3件 |
| ・サークル活動 | 2件 |
| ・研修会 | 2件 |
| ・HPH (Health Promoting Hospitals & Health Services) | 1件 |
| ・ウォーキングラリー | 1件 |
| ・コミュニティのボランティア参加 | 1件 |
| ・スイミング | 1件 |
| ・スポーツクラブの法人会員 | 1件 |
| ・スポーツ推進 | 1件 |
| ・フェムラインかごしま | 1件 |
| ・階段利用 | 1件 |
| ・健康づくりに関する情報回覧 | 1件 |
| ・健康に関する啓発、注意喚起、日頃の健康管理注意・喚起 | 1件 |
| ・健康診断アプリを利用した歩数イベント | 1件 |
| ・健康づくりのための施設利用に対する助成 | 1件 |
| ・健康だより発出 | 1件 |
| ・再検査受診の追跡調査 | 1件 |
| ・歯科検診 | 1件 |
| ・終業時間内禁煙 | 1件 |
| ・職場内のトレーニングルームの使用 | 1件 |
| ・地域での健康なまちづくりの推進 | 1件 |
| ・福利厚生で衛生用品の配布 | 1件 |
| ・見聞きした情報の共有 | 1件 |

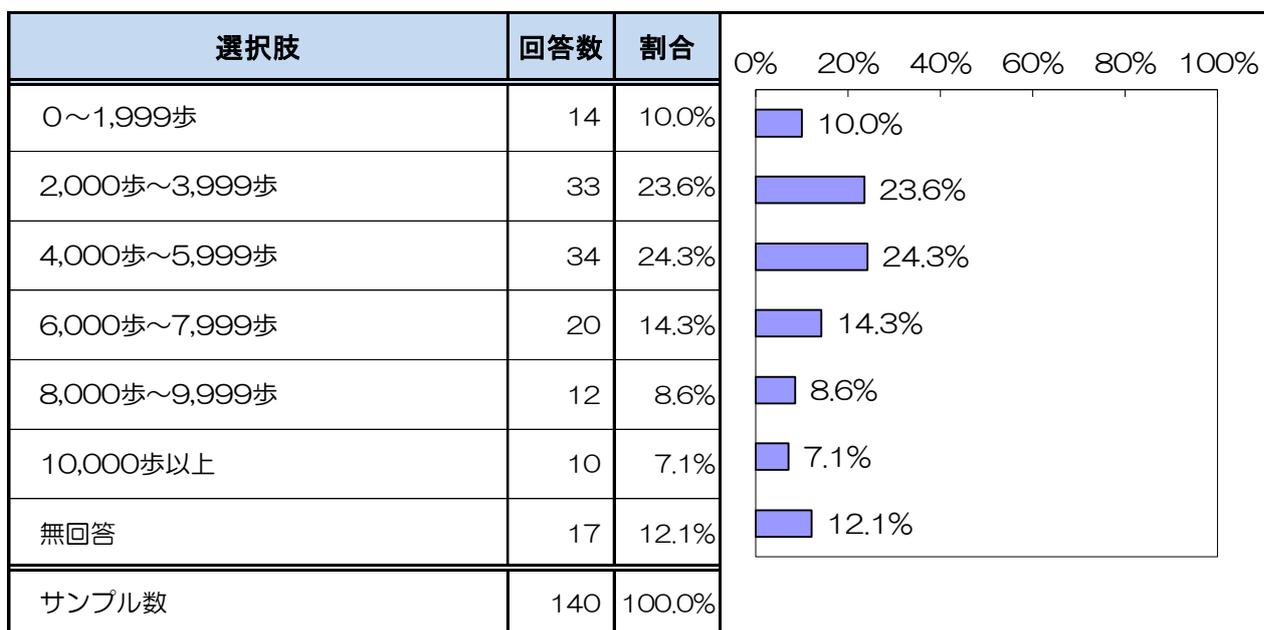
問3 歩数計や、歩数がカウントできる携帯電話、スマートフォンなどで一日の歩数を確認することはできますか。(単一回答)

「できる」が62.8%、「できない」が36.3%となっています。



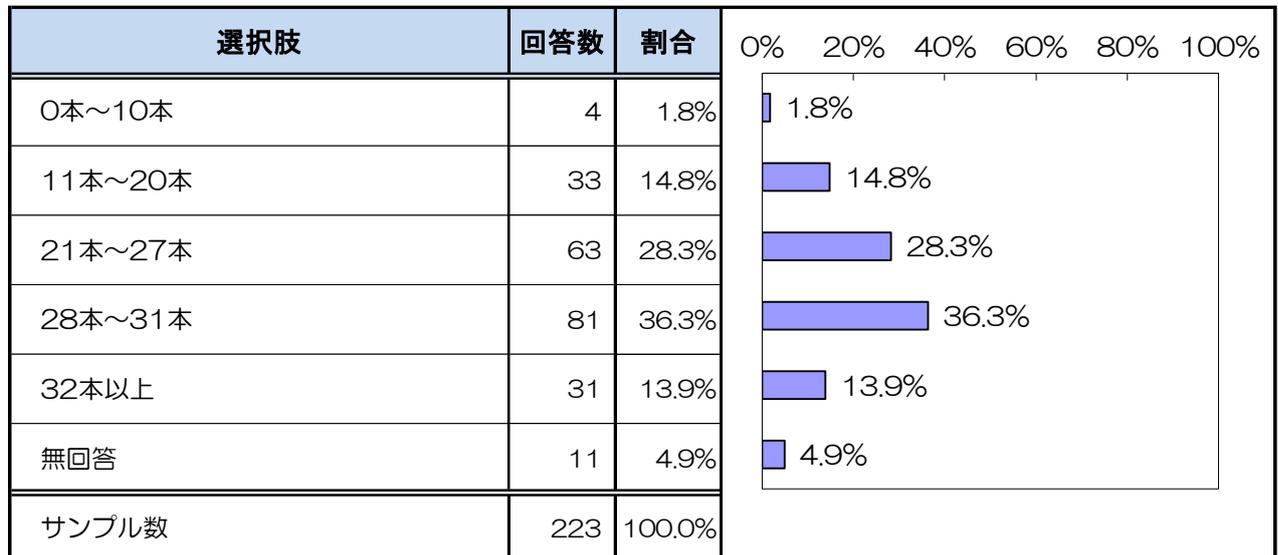
「1. できる」と回答された方の数日の平均歩数

「4,000歩～5,999歩」が24.3%と最も高く、次いで、「2,000歩～3,999歩」の23.6%、「6,000歩～7,999歩」の14.3%の順となっています。



問4 あなたの歯は、何本ありますか。

「28本～31本」が36.3%と最も高く、次いで、「21本～27本」の28.3%、「11本～20本」の14.8%の順となっています。



問5 1年に1回は歯科検診を受けていますか。(単一回答)

「はい」が57.4%、「いいえ」が42.2%となっています。



問6 たばこを吸いますか。(単一回答)

「吸う」が11.7%、「以前は吸っていたが、今は吸わない」が25.6%、「吸ったことがない」が62.8%となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|------------------|-----|--------|
| 吸う | 26 | 11.7% |
| 以前は吸っていたが、今は吸わない | 57 | 25.6% |
| 吸ったことがない | 140 | 62.8% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| サンプル数 | 223 | 100.0% |

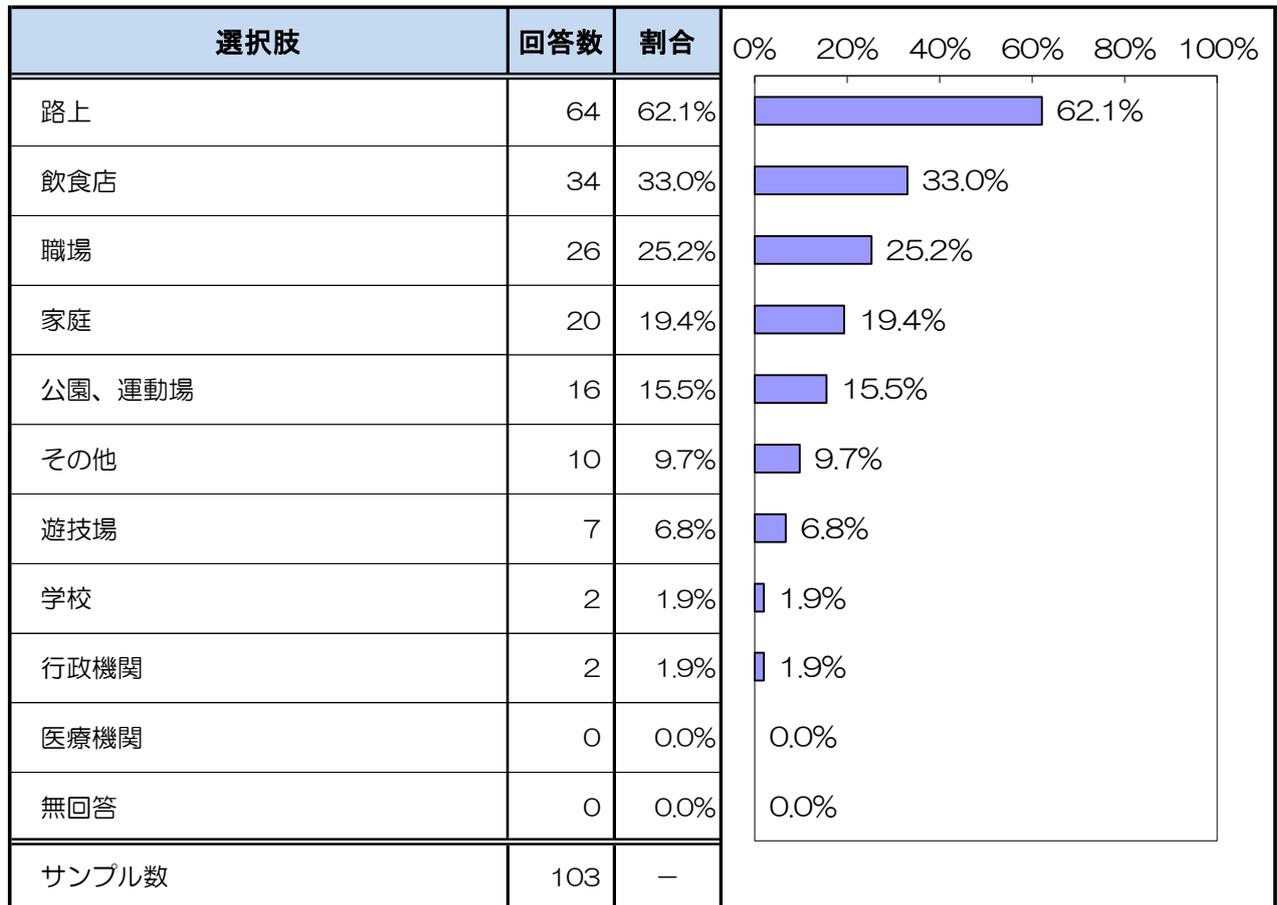
問7 過去1カ月間で望まない受動喫煙を経験したことがありますか。(単一回答)

「ある」が46.2%、「ない」が52.9%となっています。

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|-------|-----|--------|
| ある | 103 | 46.2% |
| ない | 118 | 52.9% |
| 無回答 | 2 | 0.9% |
| サンプル数 | 223 | 100.0% |

問8 問7で「1. ある」とお答えした方にお伺いします。受動喫煙を経験した場所はどこですか。(複数回答)

「路上」が62.1%と最も高く、次いで、「飲食店」の33.0%、「職場」の25.2%の順となっています。



◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・隣家の人がいっつも外で喫煙している。うちの庭に流れてくる。
- ・店の入り口にある喫煙所
- ・子どもの部活の体育館喫煙所付近・会社

問9 「健康づくり」について、市に取り組んでほしいことをご自由にご記入ください。

◆回答一覧（一部抜粋・原文まま）

| 回答内容 | 性別 | 年代 | 地域 |
|---|----|-------|----|
| ウォーキングルートの整備と環境を整える（ルールをしっかり守る等）をお願いします。歩道では、ランニングする方、ウォーキングする方、自転車に乗る方様々いて危険を感じています。 | 男 | 40歳代 | 吉野 |
| 気軽に運動できる施設。環境。 | 女 | 60歳代 | 吉野 |
| 健康診断の検査項目の拡大 | 男 | 30歳代 | 谷山 |
| 健康診断を気楽に受けられるようにしてほしいです。 | 女 | 30歳代 | 吉田 |
| 市が高齢者などに対して街歩きなどのイベント企画をして欲しいです。今コロナがまん延していて大きなイベントなどの企画が出来ない時期ですけど地域で小さな企画は出来ると思います。地域の史跡などを巡る街歩きなど出来たらいいと思います。 | 男 | 60歳代 | 谷山 |
| 健康に興味を持つような形での情報発信。（興味ない人は自分から健康づくりに取り組まない。）健康を保たないと結果金銭的、治療内容的等どうなるか等々... | 男 | 40歳代 | 伊敷 |
| 最近高齢者の虚弱（フレイル）についての記事を目にする事が多くなりました。たんぱく質が不足しているとのこと。鹿児島錦江湾で獲れる魚や鹿児島黒豚等をもっと健康的にも良い事をPRして鹿児島の食と健康を上手く活用していけば良いと思います。 | 女 | 60歳代 | 中央 |
| 講演会のWEB配信（健康関係） | 男 | 50歳代 | 中央 |
| ロコモ、フレイル予防などの無料市民講座を増やしてほしい。 | 女 | 70歳以上 | 谷山 |
| タバコのマナーを守ってほしい | 男 | 40歳代 | 松元 |

Ⅲ 選挙について

1. 調査の目的

今回の衆議院議員総選挙の投票率は53.31%となり、前回は2.85%上回ったものの、それでも全国や県を下回るなど、鹿児島市においては、投票率の低下傾向や政治への無関心が課題であると考えております。

今回、選挙に対する意識、期日前投票や啓発媒体の状況について調査し、今後の選挙の投票率向上に向けた啓発活動の参考とするため、アンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。

2. 調査結果を受けて担当課（選挙管理委員会事務局）からのコメント

今回、選挙に対する意識や啓発媒体の状況を把握し、今後の投票率向上に向けた啓発活動の参考とするため調査させていただきました。

政治への関心や選挙の投票への参加については、皆様の意識や認識の高さを伺うことができました。政治や選挙に関する情報を得る手段については、インターネットよりもテレビや新聞の方が割合が高いという結果でしたが、インターネットについては現在普及が進んでいることから、投票率の低下傾向にある若者に対する情報提供手段として、また投票方法の手段への関心も多く寄せられており、投票率向上への有効手段として、活用方法に工夫が必要であると感じました。

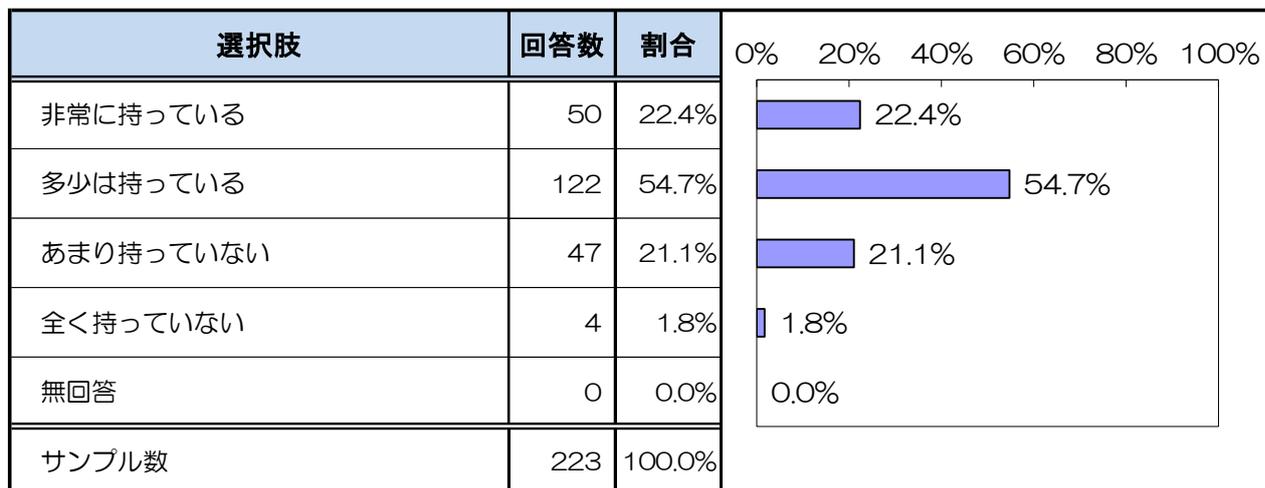
自由意見におきましても、選挙の投票率を上げるために必要なこととして、学校や家庭等における子どもへの教育に関すること、候補者や政治に関する周知や啓発に関すること、選挙制度に関すること、など数多くのご意見をいただくことができ、大変参考となりました。

これらも含めました今回の調査結果を踏まえまして、投票率向上に向けて、様々な機会を捉えまして努めてまいりたいと考えております。

3. 調査結果

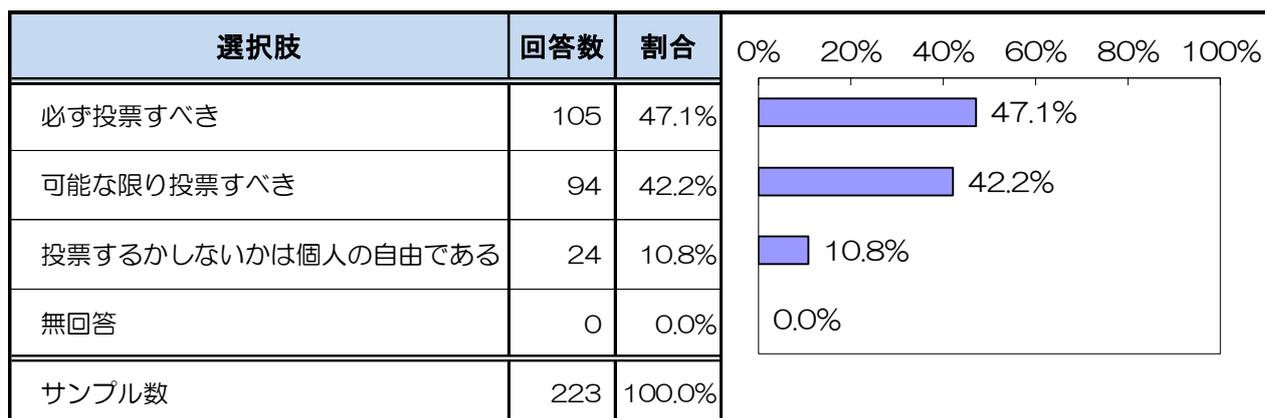
問 10 あなたはふだん政治について関心を持っていますか。(単一回答)

「多少は持っている」が 54.7%と最も高く、次いで、「非常に持っている」の 22.4%、「あまり持っていない」の 21.1%の順となっています。



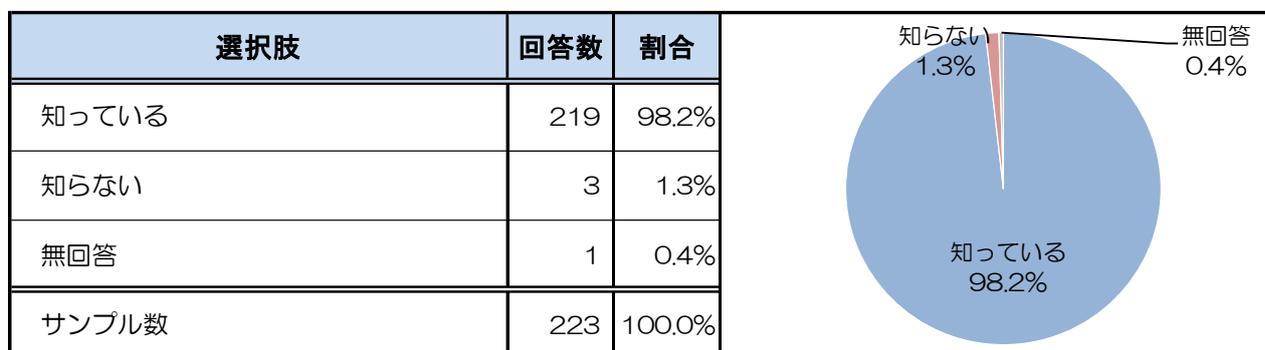
問 11 あなたは、ふだん選挙の投票について下記の中のどれに近い考えをもっていますか。(単一回答)

「必ず投票すべき」が 47.1%、「可能な限り投票すべき」が 42.2%、「投票するかしないかは個人の自由である」が 10.8%となっています。



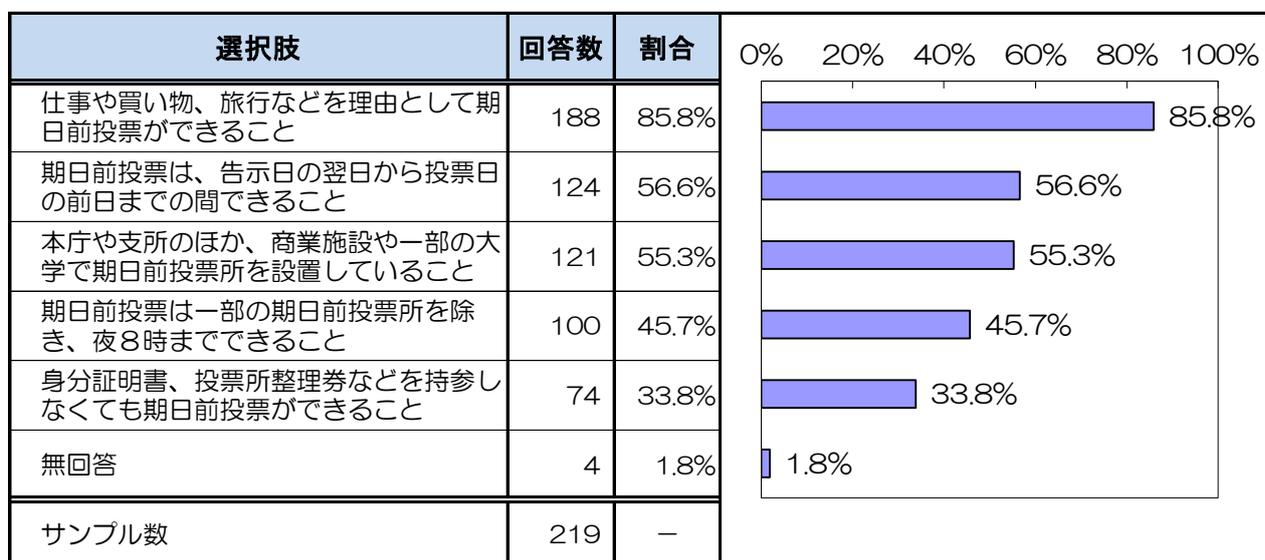
問 12 あなたは、「期日前投票」制度を知っていますか。(単一回答)

「知っている」が98.2%、「知らない」が1.3%となっています。



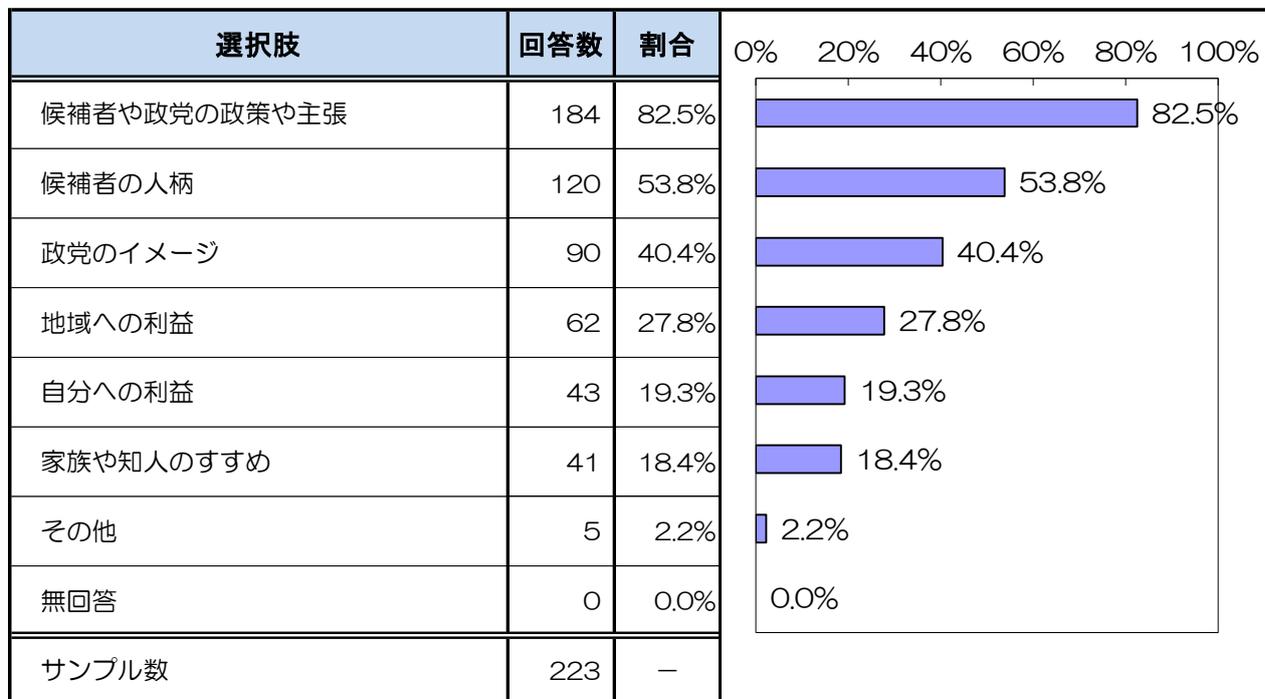
問 13 問12で「1. 知っている」とお答えした方にお伺いします。あなたは、「期日前投票」制度について、知っていることはありますか。
(複数回答)

「仕事や買い物、旅行などを理由として期日前投票ができること」が85.8%と最も高く、次いで、「期日前投票は、告示日の翌日から投票日の前日までの間できること」の56.6%、「本庁や支所のほか、商業施設や一部の大学で期日前投票所を設置していること」の55.3%の順となっています。



問 14 あなたは、選挙でどの候補者や政党に投票するかを決める時、どのような点を考えて決めていますか。(複数回答)

「候補者や政党の政策や主張」が 82.5%と最も高く、次いで、「候補者の人柄」の 53.8%、「政党のイメージ」の 40.4%の順となっています。

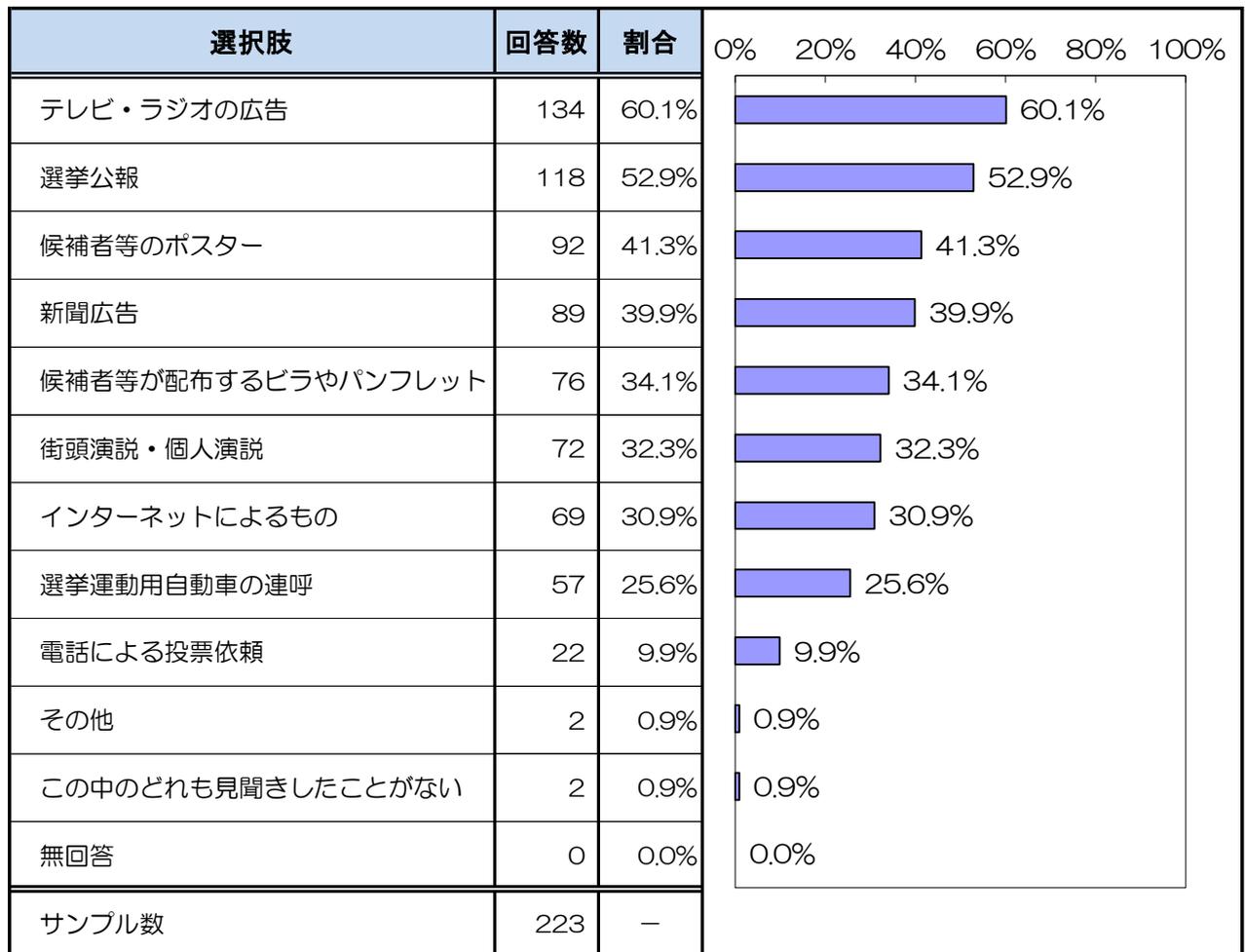


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・ 少子化対策を本気で考えていそうな候補者、実現するのに近そうな候補者。

問 15 あなたは、選挙の時にどのようなものを見たり聞いたりしますか。
(複数回答)

「テレビ・ラジオの広告」が 60.1%と最も高く、次いで、「選挙公報」の 52.9%、「候補者等のポスター」の 41.3%の順となっています。

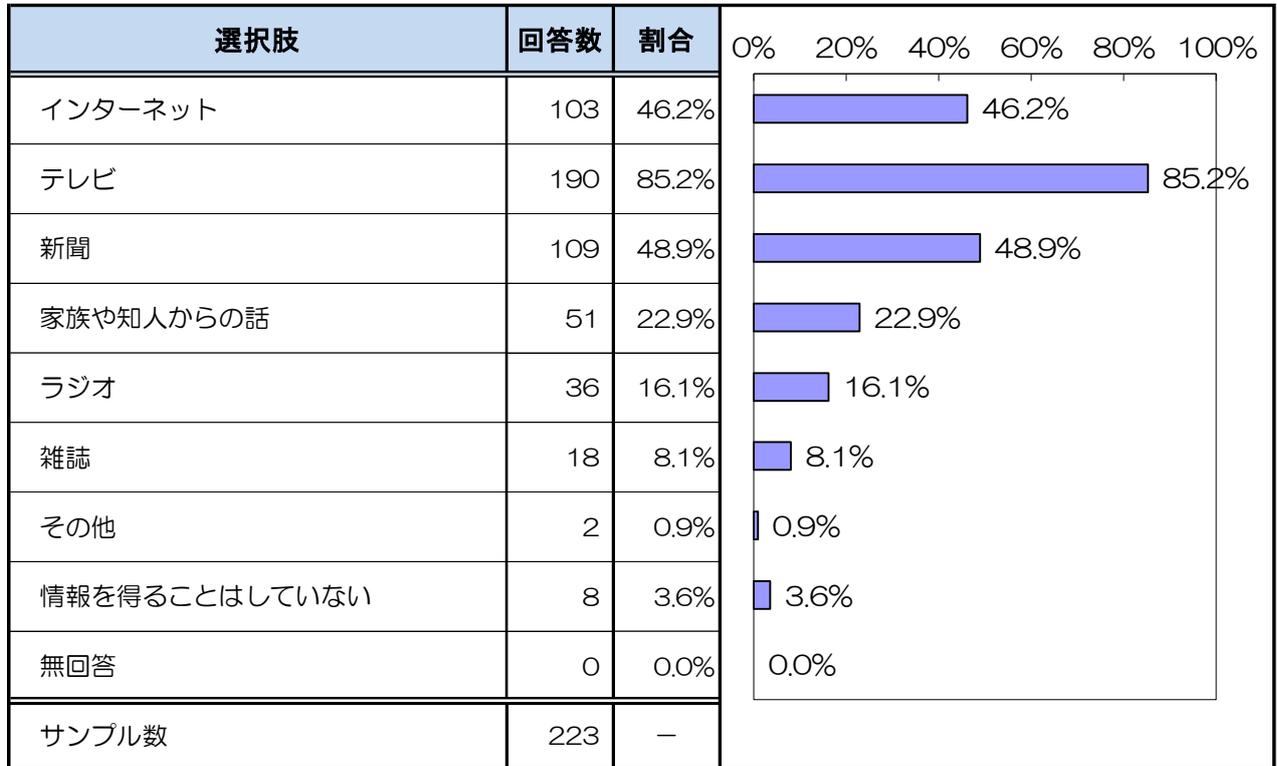


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

・信頼できる広告公報パンフはないが、大風呂敷気味ですので人相も大切とを考えます。お顔は少しは情報源になります。

問 16 あなたは、ふだん政治や選挙に関する情報を何から得ていますか。
(複数回答)

「テレビ」が85.2%と最も高く、次いで、「新聞」の48.9%、「インターネット」の46.2%の順となっています。



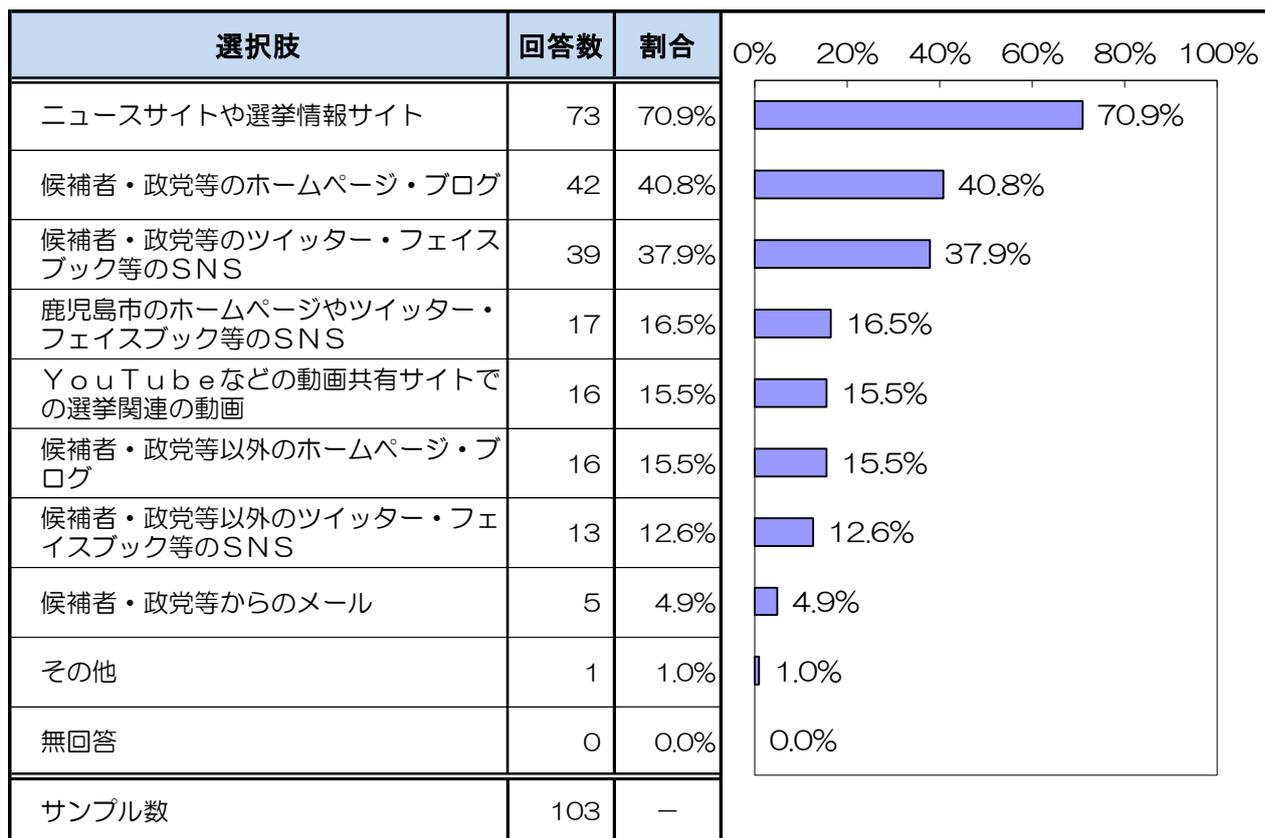
◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・インターネットによる国会、国の委員会、市議会の傍聴
- ・政党か議員の公報パンフ等

問 17 問16で「1. インターネット」とお答えした方にお伺いします。あなたが投票するにあたり、どのような情報を参考にしますか。

(複数回答)

「ニュースサイトや選挙情報サイト」が70.9%と最も高く、次いで、「候補者・政党等のホームページ・ブログ」の40.8%、「候補者・政党等のツイッター・フェイスブック等のSNS」の37.9%の順となっています。

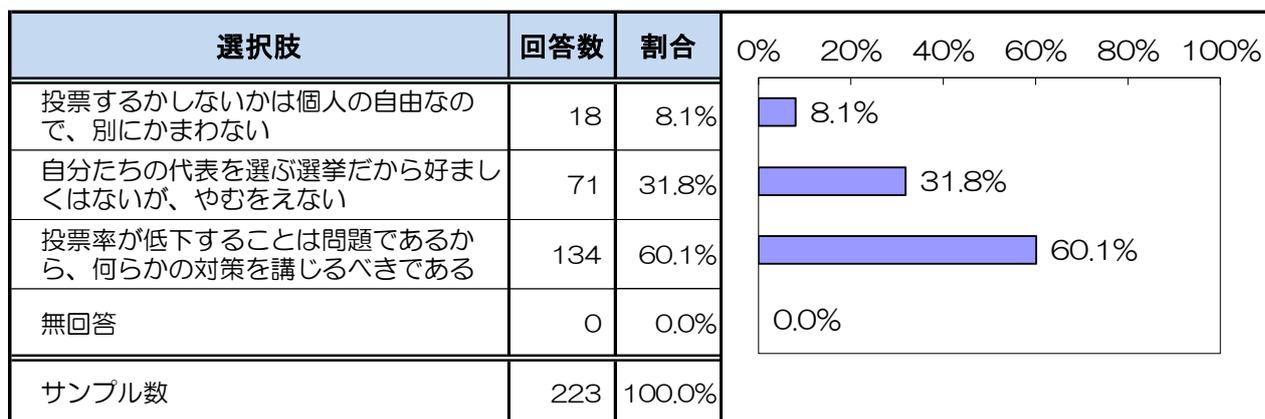


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

・政治に詳しい人（ちゃんと批判できる人）のブログやTwitter、インスタなど。

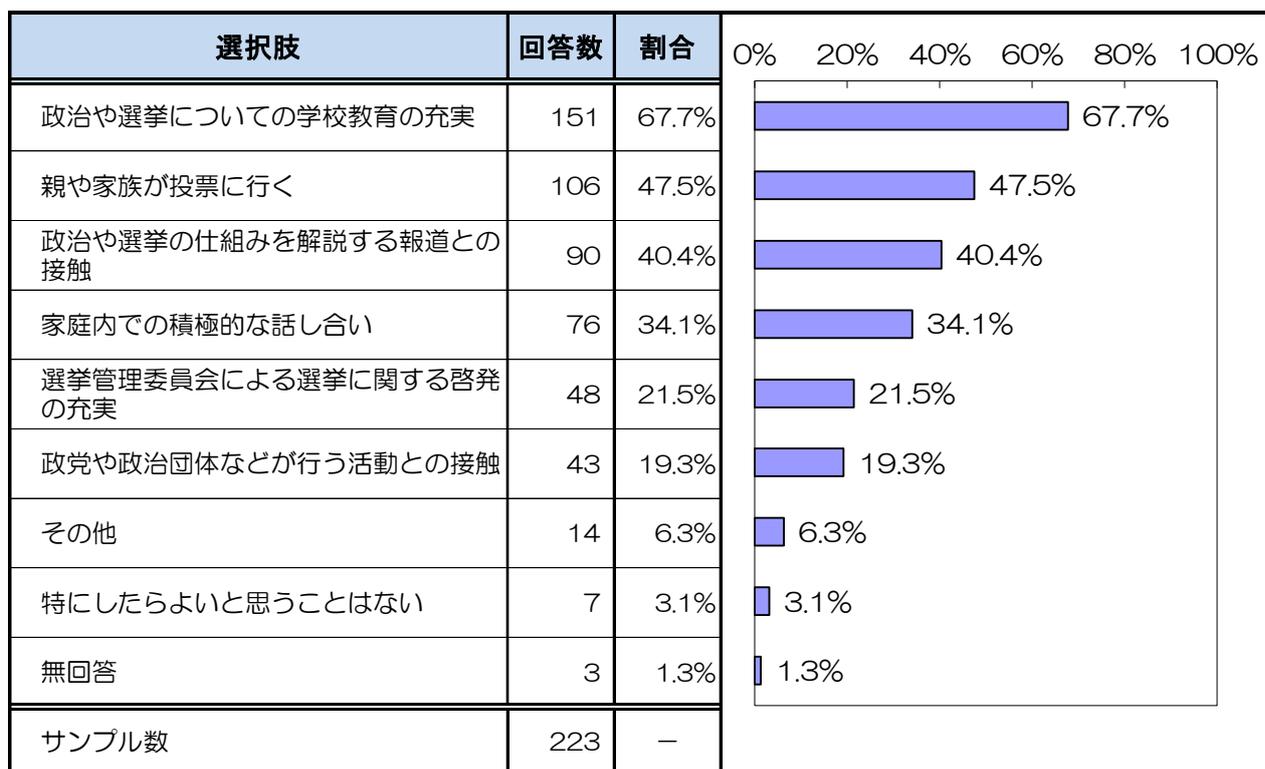
問 18 最近の選挙では、投票率が低下してきていますが、あなたはこのことについて、下記のどれに近い考えを持っていますか。(単一回答)

「投票するかしないかは個人の自由なので、別にかまわない」が 8.1%、「自分たちの代表を選ぶ選挙だから好ましくはないが、やむをえない」が 31.8%、「投票率が低下することは問題であるから、何らかの対策を講じるべきである」が 60.1%となっています。



問 19 若年層（10代・20代）の投票率が低下傾向にあります。あなたは、若年層の政治や選挙に関する意識を高めるにはどのようにしたらよいと思いますか。（複数回答）

「政治や選挙についての学校教育の充実」が67.7%と最も高く、次いで、「親や家族が投票に行く」の47.5%、「政治や選挙の仕組みを解説する報道との接触」の40.4%の順となっています。



◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・若い人たちは、インターネットから情報を得ることが多いと思うので、インターネットを活用するのがいいと思う。
- ・民主主義の根本であることの第一歩は選挙に参加する事である教育

問 20 選挙の投票率を上げるために必要なことについて、どのようなことでも構いませんので、ご自由にご記入ください。

◆回答一覧（一部抜粋・原文まま）

| 回答内容 | 性別 | 年代 | 地域 |
|---|----|--------|----|
| 子供の頃から選挙について自分の権利であることを少しずつ理解させていく。そして選挙、当選が自分にどう影響するのか知ること。 | 女 | 30 歳代 | 吉野 |
| ネットでの投票が、できるようにすると若者の投票率もぐんと上がると思う。 | 男 | 60 歳代 | 中央 |
| 海外では投票に行くとは抽選券をもらい景品が当たるという話もあるが、邪道かもしれないが政治に関心を持ってもらう意味では一考してもよいのでは？ | 男 | 60 歳代 | 中央 |
| SNSやインターネットの活用。それらを通して若年層も政治に触れやすいような窓を作ること。 | 女 | 30 歳代 | 中央 |
| 選挙で誰に入れたらいいのかわからないので、テレビなどでわかりやすく公約をまとめてもらいたい。 | 女 | 29 歳以下 | 中央 |
| 具体的に自分達の生活にどのような影響がある等が実感しにくいので、そこが目に見えて分かれば、投票率が上がるのではないかと思う。 | 男 | 30 歳代 | 松元 |
| 当日の投票が決められた場所のみというのはネックになっていると思う。出かけた場所で手軽に投票できれば便利。 | 女 | 50 歳代 | 伊敷 |
| 候補者の若返りで若い世代が選挙に興味を持たないだろうか。 | 女 | 50 歳代 | 吉野 |
| 大学生などが住民票を移さず、転居するケースにおいて、住民票を移さないから投票できなくて当たり前と言う考えを脱却して、現住地における選挙に参加できる仕組みを国がそろそろ真剣に考えるべきと思います。 | 男 | 60 歳代 | 吉野 |